

社会教育基本計画 2023

令和2年度～令和5年度

社会教育の目指す姿「人と文化を育み、心豊かに過ごしていること」

【社会教育の基本目標】

- 1 自ら学び、広げる生涯学習活動の推進
- 2 教育環境の充実
- 3 文化財保護の推進
- 4 住民主体の地域づくりの推進

令和5年度 実行計画

1 自ら学び、広げる生涯学習活動の推進

(1) 学び、生かす生涯学習の推進

市民が自ら学び、活動できるように学習情報や学習機会を提供する。

- ① 学官連携を通じて、専門的な学習ニーズに対応できる学習機会を提供する。
- ② 20歳で構成する実行委員会の主体的な運営による二十歳のつどいを開催し、二十歳の門出を祝い励まし、大人としての責任と自覚を促す機会とする。
- ③ 第4次鈴鹿市子ども読書活動推進計画の策定をする。

指標：学官連携による専門的な学習事業への参加者数

目標値（令和5年度）：300人

現状値：177人（令和5年度）

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	207人	123人	122人	112人	177人

※令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため定員を210人として募集

(2) 図書館サービスの充実

市民の自己実現活動や地域活動、社会・経済活動を支援する「知識と情報の拠点」となるよう図書館サービスを充実する。

- ① 多様化するニーズへの対応を図りながら蔵書管理を行い、新たな発見や楽しみにつながる学びを支援する。
- ② 市民が利用しやすい学びや交流の場を提供する。
- ③ 施設の長寿命化を図り、利用者が使いやすい施設整備を計画的に行い、効率的・効果的な運営を行う。
- ④ 地域の特性に合わせた配本サービスを提供するため、地域サービス事業の充実を図る。
- ⑤ 家庭・地域・学校と連携し、子ども(0歳～18歳)を取り巻く読書環境を整備する。
- ⑥ 読書ボランティアや市民団体などと連携し、読書や学習活動を充実させるとともに、活躍の場を提供するなどの支援を行う。

指標：市民一人当たりの年間貸出冊数

目標値（令和5年度）：3.8冊

現状値：3.2冊（令和4年度）

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	3.2冊	2.7冊	3.1冊	3.2冊	

2 教育環境の充実

(1) 地域資源を生かした学習環境の充実

地域の教育力を生かし、子どもたちの家庭や地域における学習環境を充実する。

- ① 社会教育関係団体の独自性を生かした青少年の健全育成活動を支援する。
- ② 社会教育関係団体とともに鈴鹿市青少年対策推進連絡調整会議の活動を推進する。
- ③ 公民館・地域・学校が連携し、体験活動や奉仕活動を幅広い世代を通して行い、互いの交流を図る。
- ④ 地域住民の協力を得て、公民館などにおいて児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる居場所づくりと豊かな学習環境づくりを推進する。
- ⑤ 訪問型ワークショップ形式で保護者同士の交流の場を提供しながら、家庭教育の支援をする。

指標：地域のボランティアが主体となって企画、運営する放課後子ども教室、土曜体験学習の教室数

目標値（令和5年度）：9教室

現状値：7教室（令和5年度）

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	7教室	7教室	7教室	7教室	7教室

3 文化財保護の推進

(1) 文化財の調査と保存

文化財を貴重な歴史的遺産として次世代に引き継いでいくため、その保存に努めるとともに、調査・研究を進め、指定・登録文化財の拡充を図る。

- ① 市内に残る歴史・文化遺産の現況調査を行う。
- ② 指定文化財の保存を図るため、所有者等への支援を行う。
- ③ 天然記念物「金生水沼沢植物群落」の保護増殖を推進するため調査を行う。
- ④ 重要無形文化財「伊勢型紙」製作技術の保存を図るため、伊勢型紙技術保存会への支援を行う。
- ⑤ 史跡「伊勢国府跡」の適切な保存のため、範囲確認調査を実施するとともに、住宅建築等に伴う市内遺跡の発掘調査を行う。

指標：文化財の保護措置件数

目標値（令和5年度）：42件

現状値：37件（令和5年度見込値）

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	40件	50件	36件	44件	

(2) 文化財の公開と活用

文化財を地域資源として活用し、歴史と文化に親しむ機会を提供するとともに、文化財を生かした魅力ある地域づくりを展開する。

- ① 考古博物館（史跡伊勢国分寺跡歴史公園）や資料館・記念館における展示・講座等活用事業の充実を図る。
- ② 天然記念物「金生水沼沢植物群落」の保護啓発のため、季節ごとの自然観察会を開催する。

指標：文化財や郷土資料・博物館資料等公開施設の来館者数及び啓発事業などへの参加者数

目標値（令和5年度）：33,000人

現状値：22,081人（令和5年度見込値）

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	24,961人	12,749人	14,904人	21,005人	

4 住民主体の地域づくりの推進

(1) 公民館事業の充実と適切な管理運営

公民館などで行っている学習活動の内容を充実し人材育成に努め、学習成果が生かされた質の高い地域づくりを推進する。

- ① 地域における生涯学習及びまちづくりの拠点施設として、住民参画の視点での公民館運営を推進する。
- ② 地域活性化を図る学習活動を推進する中でボランティアやリーダー的人材の育成を図る。
- ③ 公民館の施設を効率的に運営し、長寿命化を図りながら整備を推進する。

指標：公民館などで行っている学習活動への年間参加者数

目標値（令和5年度）：279,000人

現状値：195,900人（令和5年度見込値）

年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実績値	256,616人	139,951人	124,816人	188,960人	

※指標と目標値は、鈴鹿市総合計画2023後期基本計画と同じものを用いています。